

オートヒンジドア吊込み要領書・取扱い説明書

DR30・DR34・DK30・DK34

(軽量ドア用)

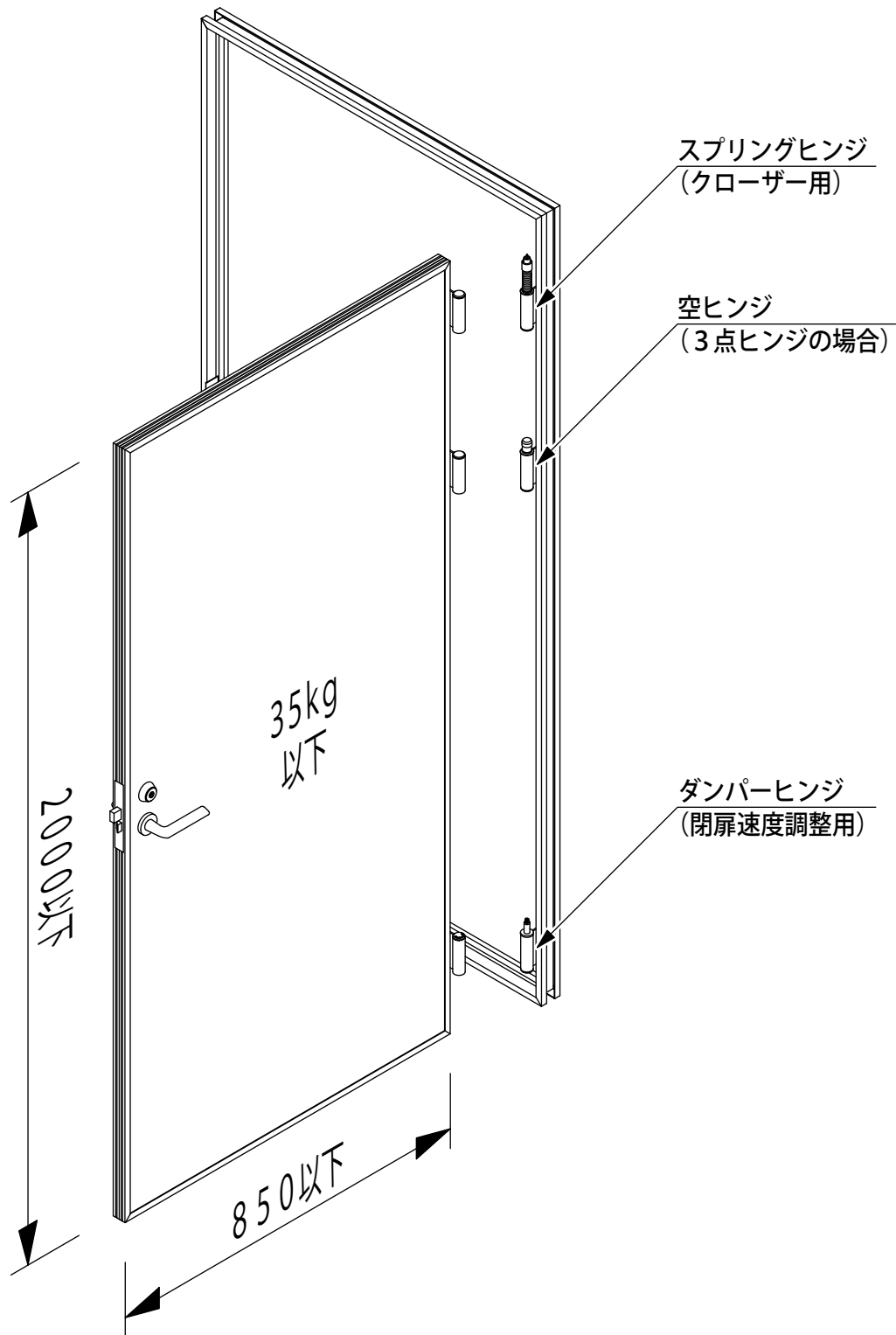
使用ヒンジ一覧

	材質	用途	品番	適用荷重	ストップ機能
屋内用	アルミ アルマイト	スプリングヒンジ + ダンパーヒンジ	1211S	35kg 以下	あり (角度 85°)
			1211	35kg 以下	なし
		空ヒンジ	1210	35kg 以下	—

※ サウナ室での使用には適しません。

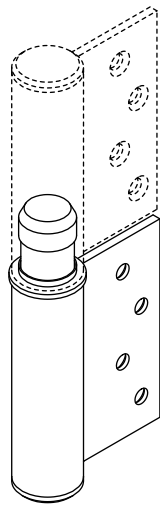
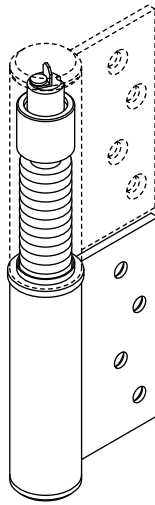
01002-AKT-018-06
2022/07

オートヒンジドアの構成



スプリングヒンジ

スプリングヒンジはバネの力で閉扉する機能を備えたヒンジです。

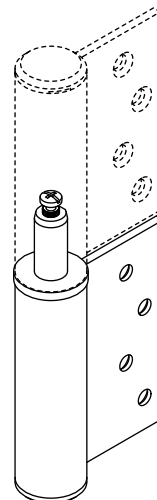


空ヒンジ

DH1900 以上の場合に使用します。

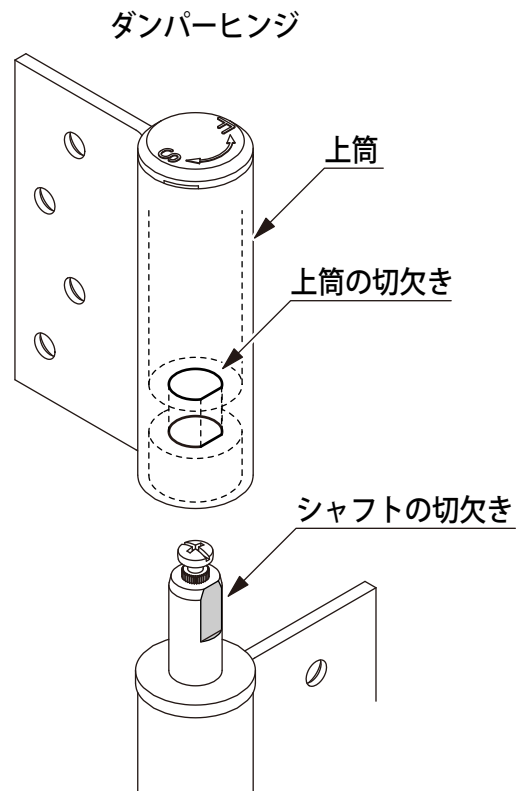
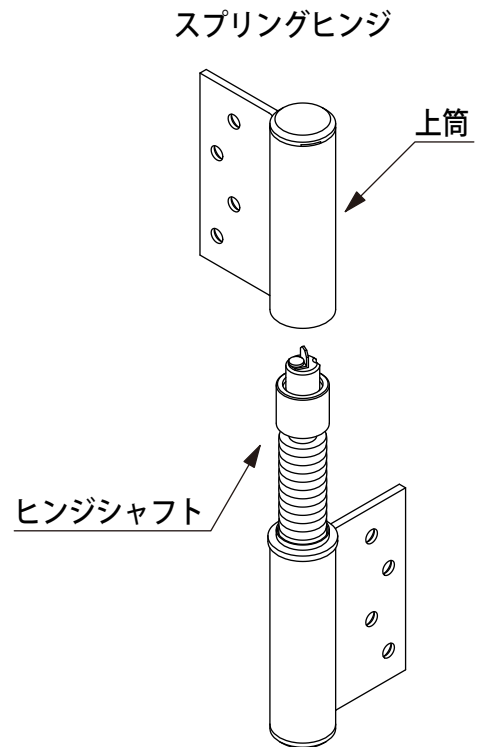
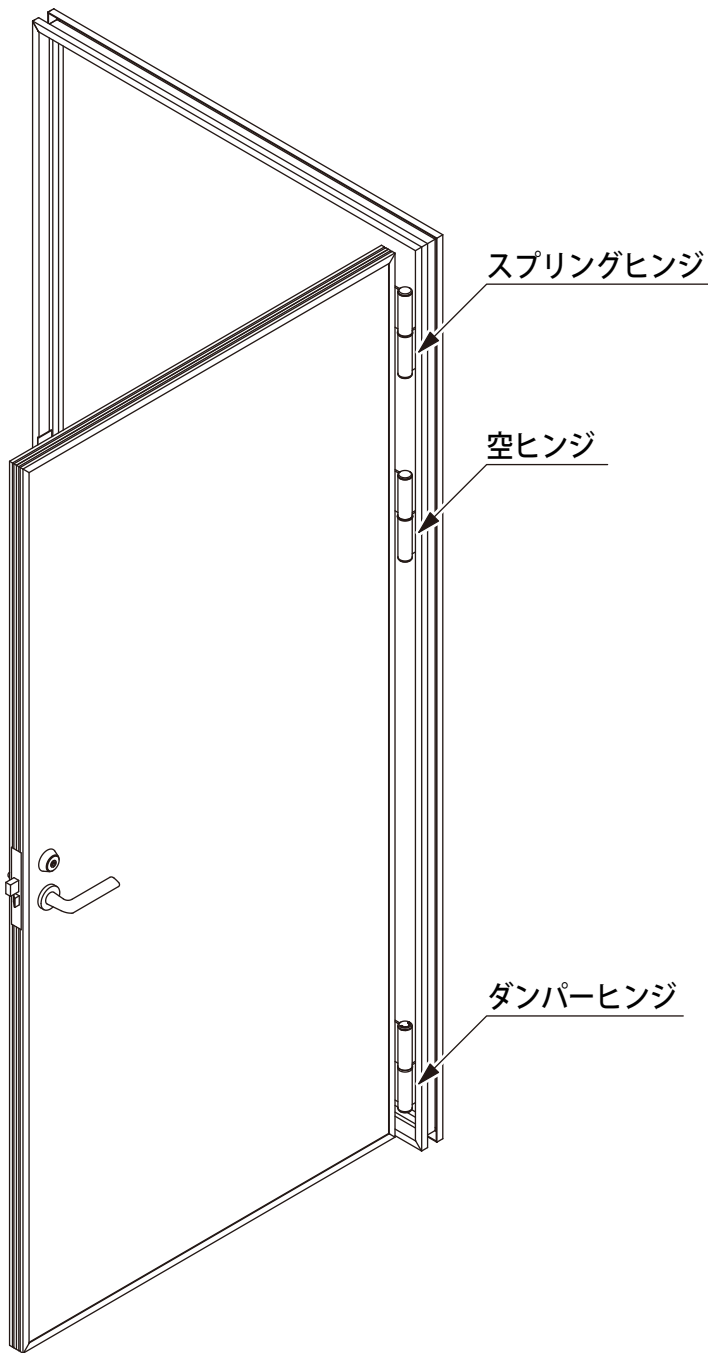
ダンパーヒンジ

ダンパーヒンジはドアの閉じる速度を油圧で調整します。



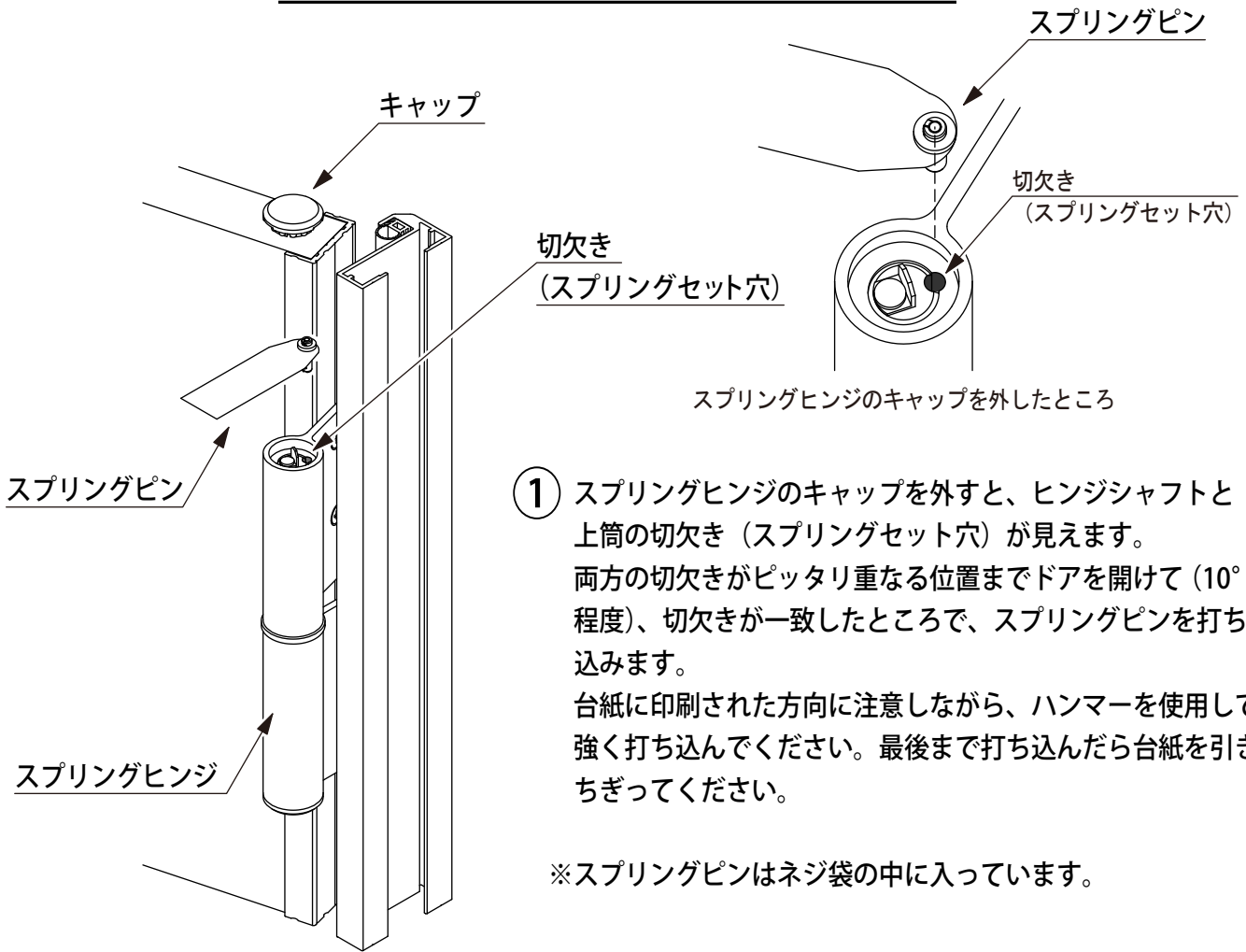
ドアの吊り込み

- ① ドアは 90° 開いた状態で吊り込んでください。



- ② ダンパーヒンジにはシャフトの切欠きがありますので、上筒の切欠き面と方向がズれている場合は、シャフトの切欠きの向きをペンチなどで上筒の切欠き角度に合わせてから作業してください。

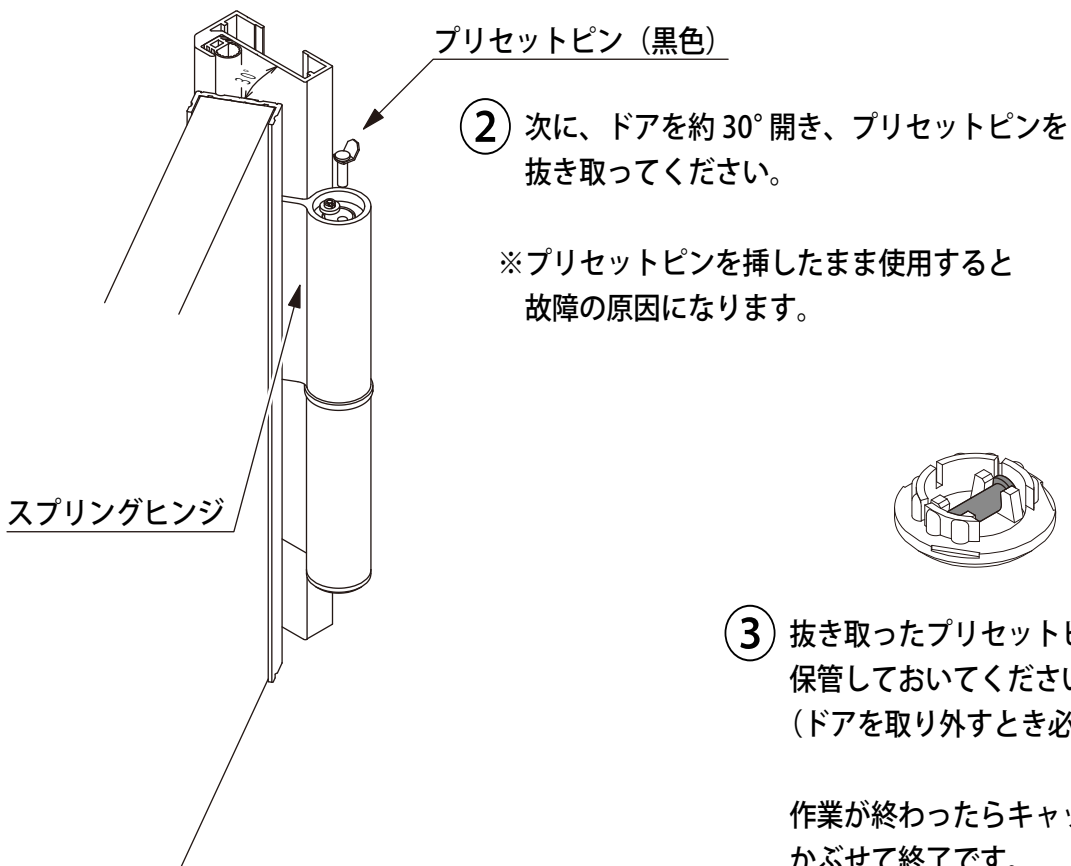
スプリングヒンジの利かせ方



スプリングヒンジのキャップを外したところ

- ① スプリングヒンジのキャップを外すと、ヒンジシャフトと上筒の切欠き（スプリングセット穴）が見えます。両方の切欠きがピッタリ重なる位置までドアを開けて（10°程度）、切欠きが一致したところで、スプリングピンを打ち込みます。台紙に印刷された方向に注意しながら、ハンマーを使用して強く打ち込んでください。最後まで打ち込んだら台紙を引きちぎってください。

※スプリングピンはネジ袋の中に入っています。



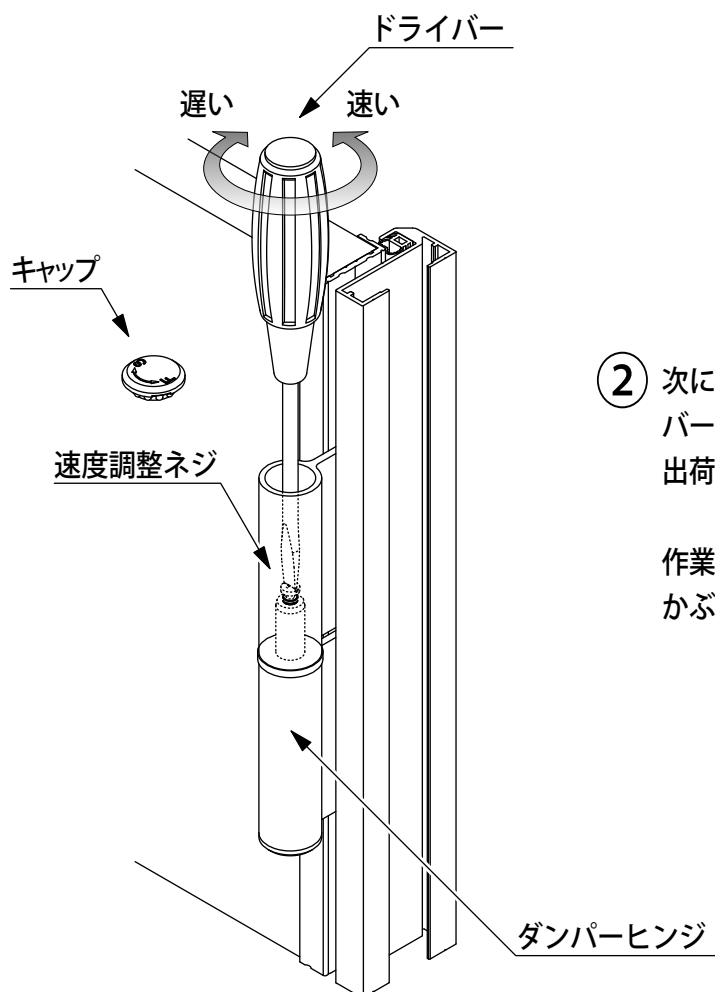
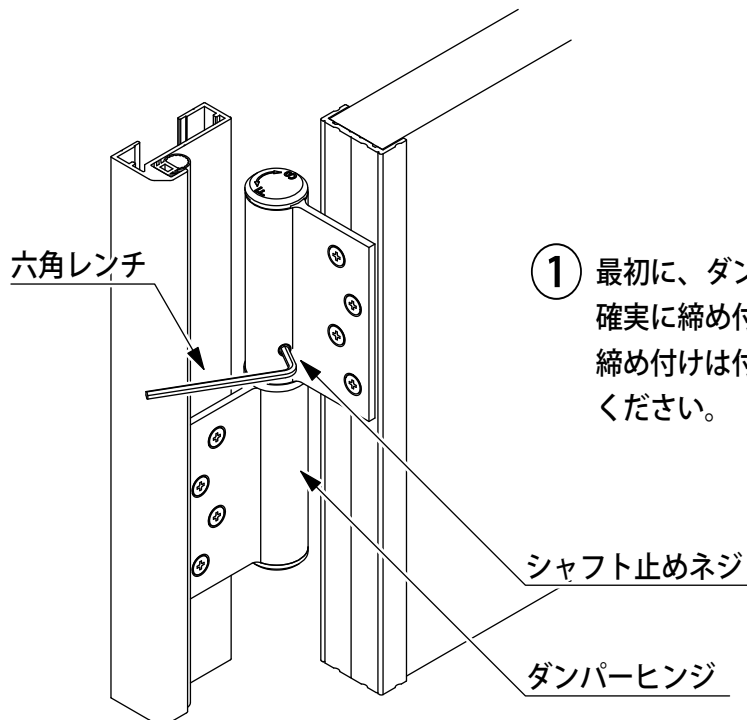
- ② 次に、ドアを約 30° 開き、プリセットピンを抜き取ってください。

※プリセットピンを挿したまま使用すると故障の原因になります。

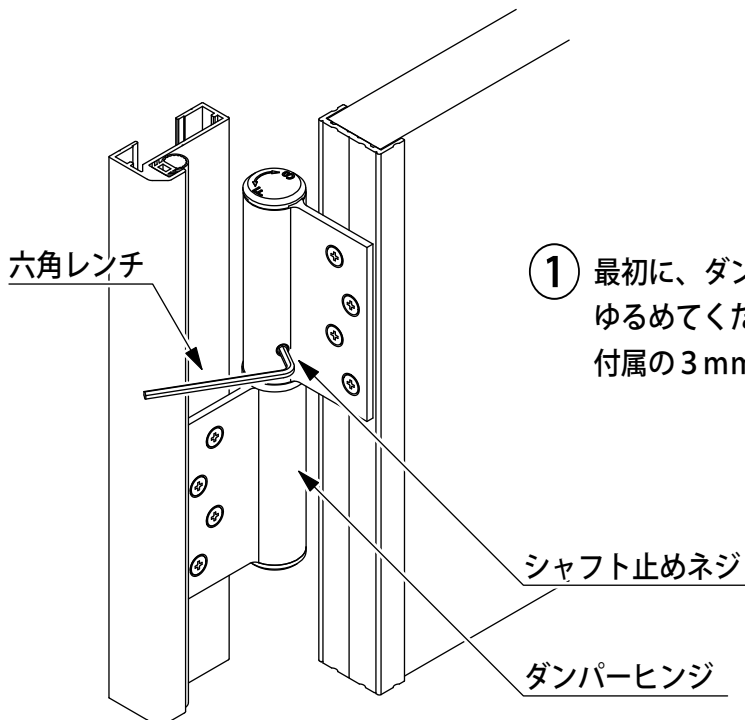
- ③ 抜き取ったプリセットピンはキャップにおさめ、保管しておいてください。（ドアを取り外すとき必要になります。）

作業が終わったらキャップをスプリングヒンジにかぶせて終了です。

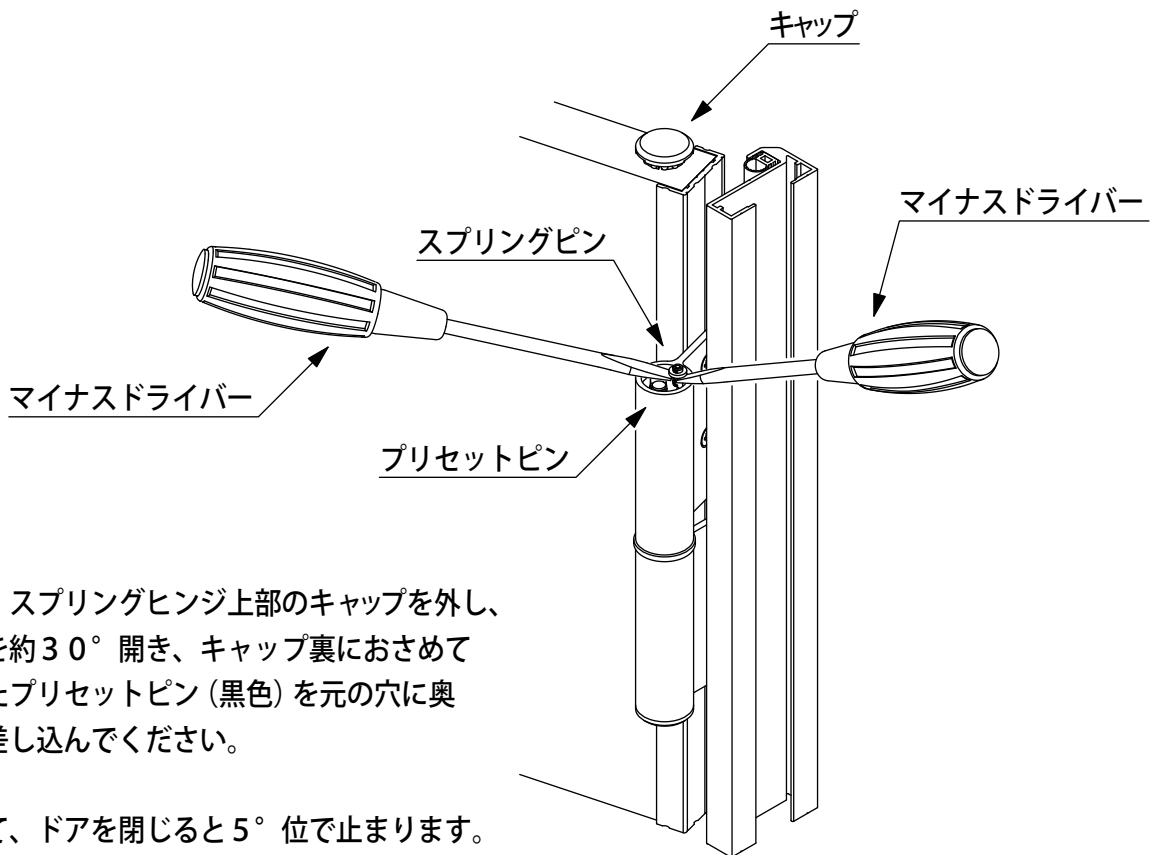
ダンパーヒンジの閉扉速度調整



ドアの取外し



- ① 最初に、ダンパーヒンジのシャフト止めネジをゆるめてください。
付属の3mm六角レンチを使用してください。



- ② 次に、スプリングヒンジ上部のキャップを外し、ドアを約30°開き、キャップ裏におさめておいたプリセットピン(黒色)を元の穴に奥まで差し込んでください。

そして、ドアを閉じると5°位で止まります。

図のようにマイナスドライバー2本を使用してスプリングピン(銀色)を抜いてください。スプリングがフリーになりドアを取り外すことができます。

使用上の注意

1. 風の強い場所には使用しないでください。指をはさんだり、故障する場合があります。
2. 浴室・サウナ室などの高温多湿の所でのご使用はお避けください。故障する場合があります。
3. 180°以上開かないでください。180°以上開くと機器が故障します
4. ドアは勢いよく開けないでください。故障や油洩れが生ずる場合があります。
5. ゆっくり閉まっているドアを無理に早く閉めないでください故障や油洩れが生ずる場合があります。
6. 油のにじみや漏れが発生し、速度調整をしても油圧が効かずゆっくり閉まらなくなった場合は速やかにダンパーヒンジをお取り替えください。
7. 万一故障した場合は「ドアの取外し」を参照しスプリングピンを抜いて閉じる速度を一番速くなるようにすれば普通の丁番としてご使用になれます。